

実務経験のある教員等による授業科目一覧  
上越看護専門学校(看護学科3年課程)

新カリキュラム

分野	科目名	単位	時間	進度	実務経験のある教員等による授業	臨床経験の種類	教育内容	
基礎分野	科学的思考の基盤	1.論理的思考	1	30	1年前期			論理的思考の形式と法則を学ぶ
		2.情報科学	1	30	1年後期			情報の伝達・処理・管理を学び、基本的な統計データの整理の方法や統計資料の解釈を理解する
		3.日本語の理解と表現	1	30	1年前期			日本語運用の基礎を学ぶとともに、理解と表現の相互関係を理解し、読解力や分析力を養う
		4.生活科学	1	30	1年前期			日常生活における科学的な視点を学ぶとともに上越地域・新潟県における生活文化について理解する
		5.心理学	1	30	1年後期	○	臨床心理士	人間のこころの発達や基本的な仕組みを知り、人間のこころと行動について学ぶ
		6.レクリエーション理論と実践	1	30	1年後期			レクリエーションの意義を学び、看護におけるレクリエーションの理論と実践の基礎を理解する
	人間と生活・社会の理解	7.人間関係論Ⅰ	1	30	1年前期			自己理解や他者理解を通して社会的存在としての人間関係を理解する
		8.人間関係論Ⅱ	1	30	1年後期			相手の立場に立つことのマインドを学び看護職としての基本的態度と行動を身に着ける
		9.現代の哲学	1	30	2年前期			哲学の基本的な考え方、生命倫理の基本を学び、人生や人間観、生きるということを深く考える
		10.生涯教育論	1	30	2年後期			人間の成長発達における学習と社会教育について学び、生涯教育の必要性を理解する
		11.社会と看護	1	30	1年後期			社会情勢や社会制度を学び、現代の社会における生活や健康を取り巻く社会的課題を理解する
		12.現代家族論	1	30	2年前期			人間にとっての家族の意味、家族の役割と構造、機能について理解し、現代家族の課題を考える
		13.医療英語Ⅰ	1	30	1年前期			近年の国際化に伴い、医療に関する基本的な英会話の知識と能力を習得する
		14.医療英語Ⅱ	1	15	3年後期			近年の国際化に伴い、医療における情報収集や伝達に必要な英会話の知識と能力を習得する
	小計	14	405					
専門基礎分野	人体の構造と機能	15.人体の構造と機能Ⅰ	1	30	1年前期	○	医師 専任教員	生命誕生と細胞、からだを守る構造と機能を学び、看護につなげる
		16.人体の構造と機能Ⅱ	1	30	1年前期	○	医師 専任教員	人間が呼吸する、体液調整と循環についての構造と機能を理解し、系統立て主体的に学び、看護につなげる
		17.人体の構造と機能Ⅲ	1	30	1年前期	○	専任教員	人間が食事・排泄するときの構造と機能を理解し、系統立て主体的に学美、看護につなげる
		18.人体の構造と機能Ⅳ	1	30	1年前期	○	専任教員	人間が活動するときの構造と機能を理解し、系統立て主体的に学び、看護につなげる
		19.人体の構造と機能Ⅴ	2	45	1年前期	○	医師 専任教員	人間が感じる、考える、調節するときの構造と機能を理解し、系統立てて主体的に学び、看護につなげる
	疾病の成り立ちと回復の促進	20.健康障害と回復過程Ⅰ	1	30	1年後期	○	医師	臓器の違いをこえて共通にみられる健康障害の原因や成り立ち、回復過程の仕組みを理解する
		21.健康障害と回復過程Ⅱ	2	60	1年後期	○	医師 専任教員	呼吸器・循環器・造血・女性生殖器・防御機構の健康障害とその回復過程を理解し、看護における観察力・判断力を養う
		22.健康障害と回復過程Ⅲ	1	30	1年後期	○	医師 専任教員	歯科・口腔・消化器における健康障害とその回復過程について理解し、看護における観察力・判断力を養う
		23.健康障害と回復過程Ⅳ	1	30	1年後期	○	医師 専任教員	腎・泌尿生殖器における健康障害とその回復過程について理解し、看護における観察力・判断力を養う
		24.健康障害と回復過程Ⅴ	2	60	1年後期	○	医師 看護師	脳・神経系、代謝・内分泌、こころの健康障害とその回復過程を理解し、看護における観察力・判断力を養う
		25.健康障害と回復過程Ⅵ	1	30	2年前期	○	医師 専任教員	運動器・感覚器における健康障害とその回復過程について理解する
		26.薬理学	1	30	1年後期	○	薬剤師	薬物動態の基礎、薬物の人体へのはたらきと生体反応、健康障害に対する薬剤の作用を理解する
		27.代謝栄養学	1	30	1年後期	○	管理栄養士	生命を維持・健全な生命活動を営むために必要な栄養素のはたらきを理解し、アセスメントにつなげる
	健康文化と社会福祉制度	28.保健医療福祉論	2	30	1年後期	○	社会福祉士	保健医療福祉制度の成り立ちを理解し、行政の保健医療福祉サービスの概要・変容を理解する
29.現代医療論		2	30	2年前期	○	医師	医療の歴史を知り、現代社会における保健医療の位置づけと課題を理解し、看護を考える基盤を養う	
30.関係法規		1	15	2年前期			法規の基本的な知識を学ぶとともに、看護職にかかわる法規を理解する	
31.専門職連携		1	30	3年前期	○	専任教員	多職種連携・協働の重要性を理解し、専門職業人として普遍的な知識および考え方・態度を習得する	
	小計	22	570					
基礎看護学	32.基礎看護学概論	1	30	1年前期	○	専任教員	看護の本質を考え、看護倫理を学ぶとともに、看護の対象や看護師の役割を理解する	
	33.基礎看護技術Ⅰ	1	30	1年前期	○	専任教員	人間関係を成立するための技術、感染防止の技術を学ぶ	
	34.基礎看護技術Ⅱ	1	30	1年前期	○	専任教員	科学的根拠から実践するための看護過程、変化に気づいて状況をとらえ反応する臨床判断能力の基礎を学ぶ	
	35.基礎看護技術Ⅲ	2	60	1年前期	○	専任教員	人をとりまく環境の理解から適切な療養環境を整える技術、清潔・衣生活、安楽な体位の保持するための技術を学ぶ	
	36.基礎看護技術Ⅳ	1	30	1年前期	○	看護師 専任教員	人間にとっての食事・栄養と排泄の意義を理解し、対象に応じた技術を学ぶ	
	37.基礎看護技術Ⅴ	1	30	1年後期	○	専任教員	バイタルサインの意義。測定方法および標準的な身体計測の方法を学ぶ	
	38.基礎看護技術Ⅵ	1	30	1年後期	○	専任教員	科学的根拠から実践するための看護過程、変化に気づいて状況をとらえ反応する臨床判断能力の実際を学ぶ	
	39.基礎看護技術Ⅶ	3	75	2年前期	○	看護師 専任教員	診療の補助を適切に実行し、看護職の責務を果たす技術について学ぶ	
	地域・在宅看護論	40.生活と健康	1	30	1年前期	○	専任教員	地域の特徴・課題から生活者の健康や生活について学ぶ
		41.生活と地域包括ケア	1	15	2年前期	○	専任教員	地域包括ケアシステムや多職種連携・協働の必要性、制度とその活用について学ぶ
		42.地域・在宅看護概論	1	15	2年前期	○	専任教員	在宅看護の目的と特徴、対象者、在宅生活を支える看護師の姿勢を学ぶ
		43.地域・在宅生活を整える技術	1	30	2年前期	○	看護師 専任教員	疾病の予防と生活の質を考えながら日常生活援助技術を学ぶ
		44.地域・在宅医療管理技術	1	30	3年前期	○	看護師 専任教員	疾病の予防と生活の質を考えながら在宅生活の継続に必要な医療的ケアを学ぶ
	精神看護学	45.地域・在宅看護過程	1	30	3年前期	○	専任教員	在宅療養者の看護過程を紙上事例を用いて展開し看護師の役割を学ぶ
46.精神看護学概論		1	30	1年後期	○	専任教員	人々のこころの健康を維持・向上させる公衆衛生としての精神保健について学ぶ	
47.精神看護学方法論Ⅰ		1	30	2年前期	○	専任教員	精神に障がいを持つ人への看護の基本 リエゾン看護 司法精神看護を学ぶ	
48.精神看護学方法論Ⅱ		1	15	2年後期	○	専任教員	精神科看護の対象となる人への看護実践の基本技術を学ぶ	
成人看護学	49.精神看護学方法論Ⅲ	1	15	2年後期	○	専任教員	精神に障がいがある人に対する看護過程の展開方法を学ぶ	
	50.成人看護学概論	1	30	1年後期	○	保健師 専任教員	成人看護の概念、発達段階、健康上のニーズ、健康問題の理解と各健康レベルに応じた看護について学ぶ	
	51.生命の危機状態にある成人の看護	1	30	2年前期	○	専任教員	呼吸・循環・消化機能に急激な変化がある人への看護を学ぶ	
	52.生涯にわたり健康障害のコントロールを必要とする成人の看護Ⅰ	1	30	2年前期	○	専任教員	栄養・代謝機能、腎機能に障害があり生涯にわたってコントロールが必要な成人への看護を学ぶ	
	53.生涯にわたり健康障害のコントロールを必要とする成人の看護Ⅱ	1	30	2年前期	○	看護師 専任教員	脳神経の障害、がんの罹患により、生涯にわたってコントロールが必要な成人への看護を学ぶ	
	54.周手術期看護	0.8	24	2年前期	○	専任教員	手術により身体侵襲を受けた成人・老年の人のアセスメント、援助の基礎を学ぶ	
	55.人生の終末を迎える人の看護	0.2	6	2年後期	○	専任教員	人生の終末を迎える成人・老年の人の最善の生を支えるための看護を学ぶ	
	56.成人・老年看護学方法論Ⅰ	0.5	15	2年後期	○	専任教員	紙上事例を通し、複雑に関連し合う加齢変化・健康障害が生活に及ぼす影響のアセスメント、看護過程を学ぶ	
	57.成人・老年看護学方法論Ⅱ	0.5	15	3年前期	○	専任教員		
老年看護学	58.老年看護学概論	1	30	1年後期	○	看護師 専任教員	老年期の発達課題、加齢変化を踏まえ、対象となる高齢者を生活者として総合的に理解し、高齢社会における健康問題の動向と保健・医療・福祉制度を学び、老年期にある人々を支える看護を理解する	
	59.高齢者の生活を支える看護	1	30	2年前期	○	専任教員	加齢・健康障害に伴って起こる特徴的な症状、生活行動の変化を理解し、対象の生活機能と自立を支え、高齢者のQOLの維持・向上を図るための看護を理解する	
	60.周手術期看護	0.2	6	2年前期	○	専任教員	手術により身体侵襲を受けた成人・老年の人のアセスメント、援助の基礎を学ぶ	
	61.人生の終末を迎える人の看護	0.8	24	2年後期	○	専任教員	人生の終末を迎える成人・老年の人の最善の生を支えるための看護を学ぶ	
	62.成人・老年看護学方法論Ⅰ	0.5	15	2年後期	○	専任教員	紙上事例を通し、複雑に関連し合う加齢変化・健康障害が生活に及ぼす影響のアセスメント、看護過程を学ぶ	
	63.成人・老年看護学方法論Ⅱ	0.5	15	3年前期	○	専任教員		

母性看護学	64.リプロダクティブヘルス看護学概論	1	30	1年後期	○	専任教員	母性看護の概念・変遷・保健動向、女性のライフサイクル各期の健康問題と看護を学ぶ		
	65.リプロダクティブヘルス看護学方法論 I	1	30	2年前期	○	助産師 専任教員	妊娠期・分娩期にある女性の生理・看護について学ぶ		
	66.リプロダクティブヘルス看護学方法論 II	1	30	2年後期	○	助産師 専任教員	産褥期にある女性と新生児期の生理・看護について学ぶ		
	67.リプロダクティブヘルス看護学方法論 III	1	30	2年後期	○	専任教員	分娩期・産褥期・新生児期にある事例対象のウェルネス思考での看護過程を展開する		
	小児看護学	68.こども看護学概論	1	15	2年前期	○	専任教員	こども看護の概要と目的およびこどもの成長・発達を理解する	
		69.こども看護学方法論 I	1	15	2年前期	○	専任教員	子ども看護に必要な知識と技術を習得する	
		70.こども看護学方法論 II	1	30	2年後期	○	専任教員	健康障害をもつ子どもとその家族の特性を理解する	
		71.こども看護学方法論 III	1	30	2年後期	○	医師 専任教員	こどもの主要な疾患を学び、看護過程の展開を理解する	
	看護の統合と実践	72.看護の統合と実践 I	1	30	3年前期	○	看護師	看護管理・医療安全・災害看護・国際情勢を理解し、看護につなげられる力を養う	
		73.看護の統合と実践 II	2	45	3年前期	○	専任教員	看護チームの一員として、複数対象者の状態に応じた臨床判断能力を養う	
		74.看護の統合と実践 III	1	30	3年後期	○	専任教員	研究の基本的知識・態度を学び、質の高い看護を追求する能力を養う	
		小計	43	1170					
	専門分野	基礎看護学	75.基礎看護学実習 I	1	30	1年前期	○	専任教員	対象者とその生活の場を見学し、援助の必要性に気づく
			76.基礎看護学実習 II	1	45	1年後期	○	専任教員	対象者と生活の場、看護の役割を理解する。対象との接し方を学び、適切な療養環境を整える
77.基礎看護学実習 III			2	90	2年前期	○	専任教員	看護理論を用いて看護過程を展開して、対象の理解と日常生活援助を実施する。また看護者として責任のある行動をとる。	
地域・在宅看護論		78.地域・在宅看護論実習	2	90	3年前期	○	専任教員	地域における支援の実際を既習の知識を活かして理解するとともに、在宅看護の実践に必要な知識、技術、態度を習得する	
		79.対象の体験からQOLを考えて看護につなぐ実習	0.5	15	2年前期	○	専任教員	多様な健康レベル、生活レベルに応じた看護を学び、対象のQOLの維持に向けた看護を実践できる基礎を学ぶ	
		80.高齢者と生活を学ぶ実習	0.5	15	2年後期	○	専任教員	地域で暮らす高齢者との関わりを通して地域で生活する人々の特徴を学ぶ	
精神看護学		81.精神看護学実習	2	90	2年後期	○	専任教員	こころを病む人々が、人間的尊厳をもってその人らしい生き生きとした生活を送れるように、精神看護の実践に必要な知識・技術・態度を習得する	
		成人看護学	82.対象の体験からQOLを考えて看護につなぐ実習	0.2	6	2年前期	○	専任教員	多様な健康レベル、生活レベルに応じた看護を学び、対象のQOLの維持に向けた看護を実践できる基礎を学ぶ
			83.成人・老年看護学実習 I	0.6	27	3年前期	○	専任教員	周手術期や生命危機状態にある成人・老年とその家族を理解し、回復に応じた看護過程展開と基礎的看護実践能力を習得する
84.成人・老年看護学実習 II			0.6	27	3年前期	○	専任教員	障害・疾患とともに生活を送るためにセルフコントロールが必要な成人・老年とその家族を理解し、自己管理能力が身につくための看護過程展開と基礎的看護実践能力を習得する	
老年看護学		85.成人・老年看護学実習 III	0.6	27	3年後期	○	専任教員	障害・疾患を持つ成人・老年が最善の生を生きることができるように対象を理解し、看護過程展開と基礎的看護実践能力を習得する	
		86.対象の体験からQOLを考えて看護につなぐ実習	0.3	9	2年前期	○	専任教員	多様な健康レベル、生活レベルに応じた看護を学び、対象のQOLの維持に向けた看護を実践できる基礎を学ぶ	
		87.高齢者と生活を学ぶ実習	0.5	15	2年後期	○	専任教員	地域で暮らす高齢者との関わりを通して地域で生活する人々の特徴を学ぶ	
母性看護学		88.成人・老年看護学実習 I	1.4	63	3年前期	○	専任教員	周手術期や生命危機状態にある成人・老年とその家族を理解し、回復に応じた看護過程展開と基礎的看護実践能力を習得する	
		89.成人・老年看護学実習 II	1.4	63	3年前期	○	専任教員	障害・疾患とともに生活を送るためにセルフコントロールが必要な成人・老年とその家族を理解し、自己管理能力が身につくための看護過程展開と基礎的看護実践能力を習得する	
		90.成人・老年看護学実習 III	1.4	63	3年後期	○	専任教員	障害・疾患を持つ成人・老年が最善の生を生きることができるように対象を理解し、看護過程展開と基礎的看護実践能力を習得する	
小児看護学		91.リプロダクティブヘルス看護学実習 I	2	60	2年後期	○	専任教員	妊婦・産婦・褥婦および新生児を3側面から捉え、既習知識と技術を活用しながら看護過程を展開できる	
		92.リプロダクティブヘルス看護学実習 II	1	30	3年前期	○	専任教員	地域で暮らすリプロダクティブヘルス看護額の対象者に活用される社会資源の実際について既習知識と照合しながら体験見学し、学修する	
		93.こども看護学実習	2	90	3年前期	○	専任教員	子どもとその家族の健康レベルを形態的・機能的変化と心理的・社会的変化から捉え、看護実践に必要な知識・技術・態度を習得する	
		94.看護の統合と実践実習	2	90	3年後期	○	専任教員	看護管理の実際、複数対象者への看護実践の体験することで組織の一員として看護師の役割を理解する。また退院調整看護師の役割を体験し、多職種との連携・協働を理解する。	
講義合計		79	2145				うち実務経験のある教員等による授業単位数 65単位 (1755)		
臨地実習合計		23	945				うち実務経験のある教員等による授業単位数 23単位 (945)		
総合計		102	3090				うち実務経験のある教員等による授業単位数 88単位 (2700)		